

港 灣 春 闘

事実上のスト通告

来月12日の日曜24時間

2017年港灣春闘は港運中央労使による第2回中央団体交渉が23日午後東京都内で開かれたが、交渉は進展せず、港

湾労組はスト権を月内に確立したうえで、3月1日付で12日始業時からの日曜24時間ストライキを通告する意向を、日本港運協会に伝達した。事実上のスト予告通告で、実

施となれば、年ぶりの港運ストとなる。第2回団交では日港協側から要求項目のうちの一部で回答が示された。

しかし、組合側は団交終了後「回答は地区レベルでの対応を図るとの事項が多く、中央交渉の役割を(日港協側が)きちんと認識している」と言い難い(全国港灣労働組合

連合会事務局)との認識を表明。二部の事項については中央交渉の存立基盤そのものを否定する姿勢を取っている」とも話し、スト権確立前のスト実施意向伝達の背景を説明した。

組合側は邦船3社のコンテナ船事業統合や韓国・韓進海運の経営破綻など、コンテナ船業界

の激変が加速していることを背景に「職域の確保」などを最重要課題と設定。例年以上に攻勢を強めている。今後は、各地区でのスト権確立方針を月内に集約し、3月1日に正式にスト通告を行う。内容は12日始業時から翌13日始業時までの荷役拒否行動、対象は全港・全職種を想定する。

近年の春闘では、12、14、15年の春闘で日曜日などを中心にしたストが実施されてきたが、昨年は組合が72時間ストを通告す

る中、ぎりぎりでは実施が港協からの要請があれば回避された。次回交渉日同時調整を検討する」は未定だが、組合側は「日(同)とする。」